

新たな目標を胸に

松山東雲女子大・短大

松山市桑原3丁目の2日、入学式があり、松山東雲女子大・短大298人が新たな目標



入学式後、キャンパスで記念撮影する松山東雲女子大・短大の新入生

に向かつて歩み出した。新型コロナウイルスの感染対策を取り、3年ぶりに新入生がチャペルで一堂に会して開催した。

式では高橋圭三学長が「18歳から成人となり、皆さんの行動すべてに責任が伴う。大人の自覚を持って学生生活を謳歌(おつか)してほしい」と激励。新入生を代表し、女子大心理子ども学科の徳田花音さん(18)が「心に不安を抱えている人に寄り添えるよう頑張る」、短大保育科の立花葉菜さん(18)が「さまざまなことに挑戦し、社会に貢献できる人になりたい」と宣誓した。

式後、2人は「大人数で集まる機会が少な

かったので良い経験になった」と笑顔を見せた。新入生はキャンパスの桜をバックに記念撮影していた。

2020年度と21年度の入学式は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、新入生が学科や専攻ごとに教室に分かれて開

催。今回は保護者や来賓は出席せず、座席の間隔を広く取るなどして実施した。

(杉本賢司)